

明星バザーだより Vol3

夏休み中も元気に活動していました号

バザー倉庫の大棚卸を行いました

7月16日、夏休みに入ってから最初の猛暑37度を記録した日曜日に、備品担当のバザー委員を中心にボランティアで参加した三十名を超える仲間と一緒に、バザー倉庫の棚卸を行いました。朝十時に集合して、まずはバザー倉庫にある様々な物品をバザー本部の金美和さん、品川武さんのリードのもと、すべてサクラ通りに並べました。サクラ通りの桜やプラタナスがその枝を広げて作ってくれた日陰ではとても間に合わず、その作業だけで汗だくになりました。そこから、全部の中身を書き出し、別々の場所にバラバラに保管されていた各種道具を整理して、倉庫に納め直しました。

このほか、体育館や教室に敷くブルーシートのサイズを計ったり、PTAルームの前にある倉庫の中身を整理して、バザー倉庫の中身と統合したりと、午後3時過ぎまで、体を動かしました。

当日のMVPは、お父さんと一緒に参加してくれた、10年生の竹田史希さん。バザーのための用具が詰まった幾つものプラスチックケイスを運び出し、整理し、PTAルームの前の倉庫にあった大量の椅子を、バザー倉庫に運び、虫と格闘しながら、中学校の職員室前の階段下の倉庫をキレイに掃除してくださいました。今年7年生が学年企画として寄贈品の模擬店を開催予定で、保護者から集めた大切な寄贈品を、バザー当日まで保管する場所探しに苦

慮していたのですが、竹田君を加えた大掃除パ隊チームの働きにより、寄贈品の保管場所を十分に確保することができました。作業の終わりに、差し入れのアイスクャンディーで涼をとったり、それぞれの働きを称えあい、怪我無く無事に棚卸作業を終えました。これで、バザー開催に向けて、また1つ大きく前進することができました。当日ご参加くださいました皆さまに、心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



疲れたけれど、満面の笑みで「はいチーズ！」



サクラ通りいっぱい広げられたバザー備品 テキパキと仕分け作業



バザーについて、学校に伺いました 校長、理事長インタビュー

7月15日、明星学園の理事室で小学校の照井伸也校長先生、中学校・高等学校の平野康弘校長先生、平田和孝理事長にお越しいただき、お話を伺いました。

PTA主催のバザーにはどんな意義があると思われるか？

照井小学校校長

昔は、学校に対して、バザーの売り上げから実際に学校生活で利用するような物品を購入いただいたり、寄付金を活用したりと、学校にとっても非常にありがたいものでした。コロナ禍でバザーの開催ができない数年があり、その時期を越えてわかったことは、何より子どもたちがバザーを非常に楽しみにしているということなんです。本当に待ちに待った楽しみではなく、またそれだけではなく、保護者の皆さまも、学年やクラスを横断した、縦のつながりを是非持つて欲しいと思っています。そういう意味で、小中高が1つになって、バザーを通して何かを作っていくってほしいなと思います。

平野中学校高等学校校長
バザーは、寄付されたものを売りますが、それにとどまらず、いろいろな体験や交流があり、子供たちが楽しめるこ

この場が、毎年作られることが素晴らしいです。欲張りかもしれませんが、先生方の参加がもう少し増えて、保護者や友達とだけではなく、先生とも一緒に楽しんで欲しいです。高校の先生方の中には、バザーにそれほど馴染みのない方もおられるようですので、今年のバザーが良いきっかけになれば嬉しいです。

久野バザー委員長

高校の活動として、自治会が積極的に参加してくれていてそこに小中高の保護者が関わるといふ初めてのコロナボランティアが今年はあるんです。

平野中学校高等学校校長
いいですねえ。高校生がごみ問題の哲学対話などの機会を得て、リサイクルなどに関心が向いているようなので、本当に良いタイミングです。

平田理事長

本来バザーというのは慈善市、フェスティバルなんですよね。明星には、生徒たちが作る「明星祭」というお祭りがあります。バザーもお祭りです。



今年のテーマは「手をつなごう」

今年のバザーのテーマは、「手をつなごう」です。このテーマをどう思われますか？

平田理事長

今、時代のキーワードはSDGsなんです。バザーのコンセプトは、家ではもう使わないけれども、本当はまだ使えるものを持ち寄って売るということ。また、SDGsとは、未来へのつながり方でもあるんです。それは、今が未来とも過去とも、共に手をつなげることで、より良い環境で子どもが教育を受けられるようにバザーを通して学校に寄付が届けられること、教員が良い学びを授けること、お返しする。そして、バザーに集まる生徒、その保護者、教員、そして同窓生の方々が一体となって、その連帯や感動を分かち合えるようにしたいですね。そうすると、保護者もやって良かったと思えると思います。それぞれの立場の方がうまく融合して一緒にやっていくという伝統を大事にしたいですね。

平野中学校高等学校校長

去年からの取り組みですが、明星祭を学園全体で取り組んでいこうということ、学園内部の生徒が専用に楽しむ時間帯を設けたんです。小学校低学年は保護者と一緒に、高学年と中学生は友達と一緒に、明星祭に参加しました。

照井小学校校長
明星学園の中での交流は、とても大切であると考えています。昨年の明星祭の見学をきっかけに、小学校3年生の保護者が、スパー内部の12年生に学校生活などの話を聞くという機会を設けました。このように、交流する場を意識的に持ちたいと思っています。そういう意味では、行事というのは大きなチャンスになると思います。

平田理事長

明星祭とPTAバザーはどちらも、もっと参加率を上げるような仕組みができるかなと思います。とくにバザーに関しては、小学校は参加する伝統があるのですが、多くの方が参加できるということが、明星らしい「祭り」の在り方だと思えます。明星学園では、様々な地域から通う生徒が、時間と空間を共にして仲間として過ごしています。言い換えると学校では勉強だけではなく、「生活する空間」を共にしているのです。わたしは、学園が中に閉じていくのではなく、オープンになっっていくことが大切であると考えており、地域に根ざす学校になっただけでいいなと思っています。

明星学園のバザーで寄付を集める活動を今年も行うつもりです。どう思われますか？

平田理事長

バザーに参加される方に、寄付の前に、明星に対する慈しみの気持ちを持っていただくのが先決だと考えます。また、世の中にある様々な問題を考える機会になつて欲しいとも思います。教育という観点では、ものの方、考え方があると大切で、そして社会にある問題を自分ごとにならなければいけないと思います。一過性ではなく、持続的な取り組みの教育をしていきたい。

最後に今年のバザーを、どのように楽しみたいと考えておられますか？

平田理事長

毎年、昆布が楽しみなんです。そのほかは、模擬店に立ち寄りたり、寄贈ブースをのぞいてみようと思っています。

照井小学校校長

明星会が家庭にしつらえる大イベントで、同学年の旧友はもちろんのこと、先輩や後輩の仲間と会つのが楽しみです。また、模擬店でご奉仕くださる保護者の方との触れ合いも楽しみにしています。

平野中学校高等学校校長

イベントを楽しみにしています。和太鼓もそうですし、アンサンブル部の演奏や、歌などの生徒たちの発表は、毎年わくわくします。また、明星会の大イベントで、教員たちに会うのも楽しみにしています。

長時間にわたり、ありがとうございました。皆さまもバザーを楽しみにいらしてください。



出来立てのバザーフライヤーを手に、左から、平野先生、照井先生、平田理事長

バザーのみどころ

今回は、明星ベーゴマ倶楽部です

ベーゴマを思い切り楽しめること！興味がない人でもハマること間違いなし！初めての人もチャレンジして回せるようになることとて面白いんです。ちなみに、初めて一人で紐が巻けて、初めて一人で回せた人にはベーゴマをプレゼントしています。大会も、初心者でも勝てる可能性大で、素敵な商品をご用意できるチャンスなので、そちらも目玉です！

バザー本部からのお願い

2学期に入るとすぐに、学年ボランティア、本部ボランティアのお願いのメールが届きます。今年の全国各地の夏祭りは、どこもコロナ前の賑わいを超えていると、連日報道されてきました。明星バザーも、それに負けない人出になるのではと思います。バザー当日はもちろんのこと、バザー前日から、多くの皆さまのお力をお借りしたいと思えます。是非ご家庭でご相談いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

ネコの手も借りたい



バザー公式サイトはこちら。LINE登録もお願いします



公式サイト



公式LINE

発行 明星学園小・中・高
PTAバザー委員会
三鷹市井の頭5-7-7
発行人 バザー委員長 久野真平
PTA会長 三十日明子
編集 PTAバザー委員会本部

編集後記
夏休みの間も何度か学校で作業がありました。8月最後の日曜日の朝8時過ぎに駅からあるいていると、なんとなく涼しい風を感じました。ああ、もうすぐ秋なのかしら？ということは、もうすぐバザー！一気に汗が噴き出てきました。(本部・吉丞)

Web Bellmark Shopping

ネットのお買い物で、手軽に本学園に支援を!!

